

# 文化力の旅 旅鶴プラン300

## 島根、調和の美、遺産への旅(1)

石見銀山の奇跡。近世日本を訪れたポルトガル商船やオランダ東インド会社により世界に伝わった、美しく輝き打ち伸ばされた石州丁銀採掘の歴史が近代機械化の前に終えたこと。神話の国、島根。自然破壊に及び開発もされず、祈りがあり非人間的な労役には至らない採掘の歴史が残る。

この季節のご紹介は、  
特にございません。

龍源寺間歩(まぶ)は、江戸時代の中頃に開発された代官所直営の坑道。全長約600mの内、273mが一般に公開される。その壁面には、当時のノミの跡がそのまま残る。石見銀山は、明治に近代採掘工法が入る前にその歴史を終え、近世の工法がそのまま目に見える。それは自然と共生する開発の歴史。世界遺産の価値がそこにある。

この季節催事情報特にございません。



(左)龍源寺間歩 写真提要:大田市教育委員会  
(右)石見銀山世界遺産センター 写真提供:大田市教育委員会



石見銀山世界遺産センター  
島根県島根県大田市大森町イ1597-3  
TEL:0854-89-0183  
(開)8:30-17:30(休)毎月最終火曜、年末年始(料)一般300円 子供(小中学生)150円  
龍源寺間歩  
(問合せ)大田市役所 産業振興部  
TEL:0854-82-1600

この季節のご案内は特にございません。



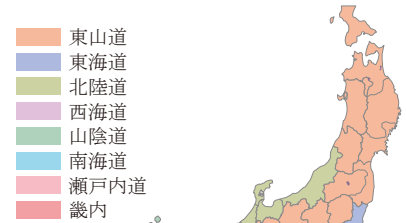
城上神社 写真提供:大田市役所

この季節のご紹介は、  
特にございません。

城上神社は、1434年に大内氏が石見銀山が栄えることを願って、城上山から銀山近くに移し、毛利氏によって1577年に現在の場所に移された。拝殿の鏡天井には色彩豊かな水守守の竜が天井一面に描かれる。文化15(1818)年梶屋円隣斎守休(えんりんさいもりやす)が描いたとされ、残る色彩の鮮かさが補修の歴史伝える。

この季節催事情報特にございません。

城上神社  
(問合せ)大田市役所 産業振興部 TEL:0854-82-1600



### 畿内七道とは

日本列島は実はひとつの地層ではなく、2億5000万年前から堆積した陸や海の地層が北や南、西や東から集まりかさなりあって出来ている。1300年前大和政権が律令国家となり、その日本の成り立ちにそって各地方を区分したのが畿内七道だった。

この季節のご案内は特にございません。

### つながりあう日本三十六景畿内七道の文化施設をご紹介します

#### 山陰道

#### 出雲大社

島根県出雲市大社町宮内  
☎0853-53-3100

祈穀祭(せこくさい)  
平成24年2月17日(金)  
10:00~

一年間の五穀豊穡を祈る。米や御神酒、野菜、果物、魚など、山海の幸十二品の神饌(しんせん・お供え物)を献上し、「献饌(けんせん)の儀」、巫女神楽などを奏上する。



(社)島根県観光推進課 写真提供:新井敬宏

#### 山陰道

#### 島根県立 古代出雲歴史博物館

島根県出雲市大社町竹葉東99-4  
☎0853-53-8600

特集展「備前焼-土と炎の芸術-」  
平成23年12月28日(水)~平成24年2月26日(日)

歴史の絆、島根県と岡山県との文化交流事業。中世六古窯の一つ、備前焼 900年の歴史を岡山県立博物館の館蔵品を中心に、人間国宝作家の作品も併せて一堂に展示。



伊勢崎洋作 備前角花生 所蔵・写真提供:岡山県立博物館

#### 嚴島神社

關陵王 撮影 新谷孝一

#### 雅とは自然との調和の美と伝える舞

舞楽は、1146年平清盛が安芸守となり、京から嚴島神社に伝え、以後800年守り継がれる。弓状に広がる遠浅の浜・御笠浜に立つ嚴島神社。中央の正殿、東西の対屋(たいのや)等108間を約275mの廻廊が結ぶ対称形で寝殿造りの影響を強く受けた平安様式。池に見立てた瀬戸内海の大鳥居を背に国宝・高舞台では、発祥地インド・中国・朝鮮半島に今はなき舞の姿を伝えている。



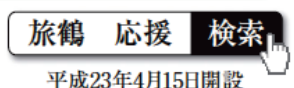
#### 嚴島神社

広島県廿日市市宮島町1-1  
TEL:0829-44-2020



旅鶴倶楽部 責任編集「旅鶴プラン300」  
スタイルカフェ・ドット・ネット  
〒541-0053大阪市中央区本町2-5-7 大阪丸紅ビル1F TEL:06-6264-7140

今回ご紹介する文化施設の催事につきましては、東日本大震災の影響で一部に変更する可能性もございます。最新の情報は、右のサイトでご確認を!



平成23年4月15日開設